図書館だより

能勢高図書館　2012. 11.

朝晩の冷え込みの激しい今日この頃ですが、風邪などひいていませんか。秋の夜長はしっかりと温まって、ぬくぬくお部屋で読書にふけってみませんか。

図書館からのお願い

○9月号でもお知らせしましたが、図書館の本は分類ごとに並んでいます。本棚から出した本は　元あったところに　きちんと返しましょう。

○図書館の中では携帯電話の使用、飲食が禁止されています。気をつけましょう。お互い　気持ちよく図書館は利用したいですね。

新しく入ってきた本の案内と紹介

3類　福祉の本

『発達と障害を考える本』3～12 巻　ミネルヴァ書房

＊1, 2 巻は既に在館。

第 3 巻　LD（学習障害）のおともだち　　第 4 巻　ADHD（注意欠陥多動性障害）のおともだち
第 5 巻　ダウン症のおともだち　　第 6 巻　知的障害のおともだち
第 7 巻　身体障害のおともだち　　第 8 巻　言語障害のおともだち
第 9 巻　聴覚障害のおともだち　　第 10 巻　視覚障害のおともだち
第 11 巻　てんかんのおともだち　　第 12 巻　発達って、障害ってなんだろう？

3類　仕事の本

『NPO法人で働く』　小堂敏郎　　ぺりかん社

『中学校・高校教師になるには』　森川輝紀　ぺりかん社

＊いずれも、なるにはBooKシリーズ。前者はNPO法人の成り立ちや仕組みから、職場の様子、関わる人々の多様な仕事ぶりを詳しく紹介。後者は第 1 章　ドキュメント　第 2 章　仕事の世界　第 3 章　なるにはコースで構成され、先生たちのやりがいや苦労話を知ることのできる 1 冊。

3類　行儀作法の本

『行儀作法の教科書』　横山験也　岩波ジュニア新書

＊一章　日常の作法　　二章　礼・お辞儀　　三章　会話　　四章　姿勢・ふるまい　　五章　食事　六章　訪問・紹介　　七章　進物・贈答・冠婚葬祭・見舞い　で構成。いざという時に役立つ、知っておきたい作法を紹介。

4類　数学の本

『わかる数学の勉強（分数・少数・方程式）』　黒須茂　パワー社

＊この本は算数（数学）の中で、小中学校時代に子どもたちがつまずいた数少ない急所を選び出してもう一度分かるように解説したもの。

『なるほど高校数学　数列の物語』　宇野勝博　講談社

＊数学を学ぶ大きな意味は「わかる喜び・発見する喜び」を体験できること。本書では、数学の並び方に秘められた謎を解く。

4類　物理の本

『『日常』と学ぶ物理基礎が面白いほどわかる本』　大渕一彦　東雲研究所

＊物理基礎では、中学で習った運動エネルギー、力の仕事、電流とその利用といった内容をさらに詳しく学習していく。中学で「暗記中心」だった学習の仕方から、高校では「理解すること」の方が重要になってくるが、なぜそうなるのかを理解しながら読むことがポイント。イラスト盛りだくさんで、「ここがエッセンス」「重要公式」「よくわかる解説」と整理されていて、理解しやすい構成になっている。

『マンガで読む　マックスウェルの悪魔　確率から物理学へ』

月路よなぎマンガ　銀杏社構成　講談社

＊マンガで理解、文系の人も大歓迎の本。

4類　宇宙の本

『銀河～宇宙に浮かぶ不思議な天体～ハッブル宇宙望遠鏡がとらえた驚きの宇宙』

沼澤茂美　脇屋奈々代　共著　誠文堂新光社

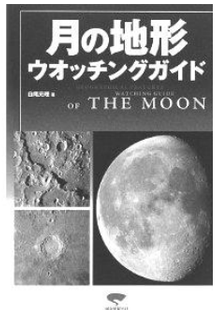
＊大判。本書は、宇宙に浮かぶ天文台「HSTハッブル宇宙望遠鏡」がとらえた画像を中心にさまざまな銀河の表情を紹介する目的で作成された。画像はすばらしく、専門家の研究用としてだけでなく、一般の鑑賞にも充分に堪えられるほど美しい仕上がりになっている。

『月の地形　ウオッチングガイド』　白尾元理　誠文堂新光社

＊月刊誌「天文ガイド」で月の地形を案内した「デジタルカメラで月面ウオッチング」（2003 年 11 月号～2006 年 12 月号まで合計 38 回）を大幅に加筆修正したもの。本書を読むと、月の地形のでき方や月の 40 億年の歴史がわかる。また、40 億年前の原始地球の様子を知る手がかりも秘められており、そのためのヒントになる解説がついている。見開き右側のほとんどのページは、月の写真が紙面いっぱいに載っている。

『新版　星座神話ガイドブック』　沼澤茂美　脇屋奈々代　共著　誠文堂新光社

＊星座神話の世界、春夏秋冬の星座神話、その他の星座物語、各国に伝わる星座物語で構成。巻末には星座リストと索引あり。



4類　動物・昆虫の本

『研究者が教える動物飼育』1～3巻　日本比較生理化学会　編集　共立出版

＊第１巻　ゾウリムシ、ヒドラ、貝、エビなど　　第２巻　昆虫とクモの仲間
　第３巻　ウニ、ナマコから脊椎動物へ

『虫の卵　ハンドブック』　鈴木知之　文一総合出版

＊虫の卵はなかなか見つからないが、簡単に見つからないから面白いとも言える。見たかった卵を発見した喜びは、まるで宝を掘り当てたようにうれしいものだ。様々な虫の卵を本書で調べて出かけよう！

5類　エネルギーの本

『再生可能エネルギーを考える』　村原正隆　パワー社

第１章「再生可能エネルギー」についての将来像　第２章「資源生産国であるからこそ打ち出せるエネルギー政策」　第３章「石油の代替エネルギー」を海水から生み出す方法
第４章「原発は再生可能エネルギーが育つまでの繋ぎ」で構成。

5類　料理の本

『塩麹レシピ 100』　武蔵裕子　新星出版社

＊PART1　塩麹で人気レシピ　PART2　塩麹につけるだけでラク旨！おかず　PART3　塩麹でたれ・ソース・ドレッシングを作ろう！　PART4　塩麹でおうち居酒屋開店　PART5　塩麹でスイーツ＆ドリンク　万能調味料塩麹をあますところなく使った料理の数々を各PARTごとに紹介。

6類　農業

『シリーズはたらく農業機械』　農山漁村文化協会

7類　趣味・生活

『見てすぐできる！「結び方　しばり方」の早引き便利帳』

ホームライフ取材班　青春出版社

＊からまないイヤホンコードの結び方、マラソン向きの靴ひもの結び方、（荷造り、ゴミ出し、ファッション、料理、ガーデニング、子育て、ラッピング）緊急時あらゆるシーンで役立つ結び方を伝授。

7類　美術の本

『だまし絵の描き方入門』　杉原厚吉　誠文堂新光社

＊この本は、「だまし絵」と呼ばれるへんな絵を描く方法をいろいろ集めたもの。

7類　工作の本

『はじめよう　電子工作』　加藤芳夫　誠文堂新光社

＊誰でも楽しめる電子工作を目標としてなるべく簡単に、そしてどこでも入手できる電子部品で作れるものを制作した。また、基本的な電子部品や動作の知識の習得としての解説もあり。

『電子工作大図鑑』　伊藤尚未　誠文堂新光社

7類　スポーツの本

『サッカー「観戦力」が高まる』　清水英斗　東邦出版

＊テレビ解説に満足できなくなったみなさんの第1歩として、たくさんの視点と刺激を含んだ1冊。

8類　言葉の本

『ケータイ化する日本語』　佐藤健二　大修館書店

＊「ケータイ」を通して、「ことば」について考える本。「ことば」は、人間にとっていかなる道具なのかの理解からたどり直してみる。

9類　文学　ノンフィクション

『風のなまえ』　榎本好宏　白水社

＊風にまつわるさまざまな言葉やその語源、言い伝えや風習などを多角的に描いた本。

『続・悩む力』　姜尚中　集英社新書

＊「人間とは何か？」百年前の漱石の「予言」を手がかりにこの根源的な問いに立ち向かう。『悩む力』待望の続編。

9類　詩・物語の本

『子どもたちの遺言』　谷川俊太郎　詩　田淵章三　写真　佼成出版社

＊誕生から20歳までのその時々の思いを、子どもから大人へ遺言するという形をとって残した言葉の数々。忘れかけていた何かを思い起こさせてくれる。珠玉の詩にぴったりの写真もすばらしい。

『あさ』　谷川俊太郎　詩　吉村和敏　写真　アリス館

『ゆう』　谷川俊太郎　詩　吉村和敏　写真　アリス館

＊2冊とも左開きなら絵本に、右開きなら詩集になる仕掛けの本。『あさ』では、夜明けから日がのぼるまでの様子を、『ゆう』では日暮れから夜までの様子を言葉で紡いでいく。その時々の思いの伝わるしみじみとした本。

『小説版　ドラえもん　のび太と鉄人兵団』　瀬名秀明　小学館

＊映画化もされたこの作品を小説にしてみたら・・・ということで誕生した本。藤子・F・不二雄の世界を独自の視線で掘り下げた作品。おもしろいものは、小説になってもまた違ったおもしろさがある、と発見できる。